

公明党政策要望懇談会報告

8月7日(金)午後1時から1時30分まで、公明党福岡県本部にて行いました。福精連より、一木会長・檜橋副会長・金子副会長・白石副会長・事務局金子が参加しました。



公明党より、参議院下野六太議員をはじめ、県議会議員、市町村議会議員との要望協議となりました。要望として5点要望しています。①精神障がい者も身体・知的の障がい者と同等に、JR等の交通運賃割引制度の適用対象に②医療費助成の格差是正を③精神の障害年金の改善要望④多職種訪問支援の仕組みづくりを⑤福祉サービスについての制度について等を、分担して現状について説明を行いました。

今年、コロナ渦もあり人数を限定しての協議となりましたが、精神障がい者福祉の現状と課題について知っていただけた貴重な機会となりました。要望協議終了後も、福精連へ個別に質問に来られて関心の高さを改めて実感しました。要望協議は、少しずつ地道にコツコツと積み上げていくことが大切だと思います。事務局 金子 勇人

臨時総会 (書面)
新規事業開設にあたり、定款の一部変更(追加)が必要となりました。
第1号議案
(8)「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく特定相談支援事業、並びに一般相談支援事業」の追加
加盟団体(家族会・事業所・グループホーム)よりご回答頂き承認されました。皆様のご協力に感謝致します。

JR九州・九州運輸局への精神障がい者手帳での割引の要望書提出

8月7日(金) JR九州本社と九州運輸局にて、みんなねっと九州ブロック代表理事檜橋副会長・一木会長・事務局金子で要望書提出を行いました。例年、九州各県連で集まり要望活動を行っていますが、今年、コロナ渦で事前に各県連で協議した結果、3名での要望活動となりました。この要望書提出も実現するまで、続けていきたいと思ひます。



リカバリーセンターくるめ
施設長 磯田重行
今年度より福精連の正会員に加わりました。
リカバリーセンターくるめは2018年2月、久留米市国分町で開設しました。開設当初は生活訓練事業と相談支援事業を実施していましたが、2019年6月からは就労継続支援B型を開始して、現在は多機能事業所として運営しています。
リカバリーセンターくるめの特徴は、私を含めて多くの職員が精神障害の当事者ということ。私たちのような当事者職員のことを日本ではピアスタッフと呼ぶことが多いです。ピアスタッフは全国で活躍していて、日本ピアスタッフ協会という団体も作りました。今は私が会長をしています。
利用者も共にリカバリーを目指す」ということです。支援の仕事は大変なことも多いですが、そこで職員が犠牲になり、元気がなくなってしまうたら利用者のリカバリーは実現できないと思ひます。利用者、職員共に同じ時間を過ごし、一緒に元気になっていくことが大切です。
今年の11月からは就労継続支援B型事業を新たな施設で開設します。名称は「リカバリーセンターくるめ」です。またリカバリーセンターくるめは新たに生活介護事業を開設し、これまで同様、多機能事業所として運営します。
「リカバリーセンターくるめ」と「リカバリースペース」ではみんなが回復し、自分の道を歩んでいけることを願っています。

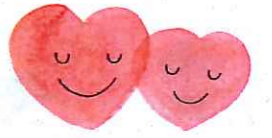


福精連が始めた障がい福祉サービス事業です。今回の事業では訪問型生活訓練と特定相談事業を行っています。

おかげさまで8月1日より、『よからぼ』をスタートすることが出来ました。住み慣れたまちで自分らしく暮らしていけるように、ご本人やご家族の想いや希望・困りごとなどを伺いお手伝いをしていきます。そして、地域生活の中で自己実現を図り、より良い生活の維持向上を目指し、それぞれがその人らしく幸せにいられるように一緒に考え・悩み・行動し、よからぼ自身も成長しリカバリーの道のりをともに歩んでいきたいと思ひます。

訪問時は、かならず検温測定を行い体調確認、手指消毒でコロナ対策を徹底し、ご自宅へ訪問いたします。本人の想い、やりたいこと・困りごとなどを伺い一緒に考えお手伝いします。またご家族のお話もお聞きし、家族が抱えている本当の想いや困りごとにも目を向け一人にせず、ご家族自身も安心して暮らしていけるよう家族も一人にはしないことを心掛けています。

- 【訪問事例】
一人暮らしを目標に安定した通院をしていきたい(受診同行)
ご飯を作れるようになりたい(調理実践)
数年後に仕事をしたいけど今は一人で外出はできない(体力作り)
元気な自分でいられるように自分のことを知っていききたいが集団はまだ苦手(訪問WRAP)



ここでWRAP(元気回復行動プラン)や、食事をしたりします。

夕食会では、利用者の『これ作ってみたい』の想いを伺い、予算、材料、工程を確認し、買い物から生活訓練をしていきます。



通所時も、検温や換気などおこないコロナ対策を徹底しております。個別性を重視しその人にあった支援(プログラム)を実践していきます。週3回(月水金)ある、夕食会では利用者自身がメニューを決め、予算、食材確認、調理工程の確認を行い、買い物から実践的に生活訓練をしていきます。集団が苦手な場合は、個別対応をおこないます。本人が語れる場の雰囲気づくりや、対話を通じて繋がりを育み、それぞれにあった必要なことを一緒に行っていきます。

反響としては、ご家族より「本人からかけられる言葉が最近変わってきている」と感じるとの声をいただいております。見学・相談は、随時対応しております。

見学・相談随時受け付けております。
TEL 092-409-3189 E-MAIL yokarabo@fukuseiren.com
博多区竹下4丁目15-8ユニバースマンション201
JR鹿児島本線竹下駅東口徒歩1分 西鉄バス竹下徒歩1分



ご利用に関すること、お問い合わせなど、お気軽にどうぞ!